

消防千葉

2024 No.602 令和6年2・3月号

目次

巻頭言 (富里市消防本部消防長)	2
令和5年度臨時理事会	3
令和6年新春消防出初式	4・5
令和5年度叙勲・褒章等受章者	6・7
令和5年度女性消防団員活性化シンポジウム	8
令和6年度消防防災科学技術賞の作品募集	9
わが町の消防団 (神崎町消防団)	10
東西南北	11～13
日々の動き	14



令和6年東金市消防出初式における放水試験 山武支部

巻 頭 言

「災害への備え」

富里市消防本部 消防長 根本 優



はじめに、この度の令和6年能登半島地震により亡くなられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された方々やその御家族・関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、被災者の救済と被災地の復興支援に御尽力されている皆様に敬意を表するとともに被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、我が国においては、気候変動を起因とした台風や豪雨による風水害・土砂災害発生リスクの高まりが懸念されているほか、首都直下地震などの大規模地震が今後数十年以内に高い確率で発生し、全国各地で甚大な被害が生じることが想定されております。これらの災害による被害を最小限に抑え、住民の生命、身体及び財産を守るため、これまでに発生した大規模災害から得られた教訓に基づき、災害対応への備えを万全にしなければならぬと、再認識した次第です。

災害対応体制を速やかに整えるためには、消防力（人員、施設、車両、資機材、水利など）の早期確保及び情報管理体制の早期確立が重要であり、災害への日常的な備えや最悪の状況を想定した事前計画に基づく活動訓練を継続的に実施していかなければ、当該体制の早期確立は成り立ちません。老朽化が進む消防施設の耐震化や消防車両等の計画的な更新などにより消防力の維持向上に努めていくとともに、様々な状況を想定した活動訓練を継続的に実施し、今後起こりうる各種災害への備えを万全に期するよう努力してまいります。

また、災害対応時における消防活動を効果的に行うためには、地域防災の要である消防団との情報連携（共有）が必要不可欠です。地域密着性や要員動員力を活かし、大規模災害時において大きな活躍が期待される一方で、社会情勢などの変化に伴い、全国的に消防団員数は減少傾向にあります。消防団員数の減少は地域防災力の低下に直結する問題であることから、消防団員の処遇改善や消防団のあり方について検討を重ねてまいります。

結びに、消防に携わる皆様の益々の発展を祈念し、巻頭の挨拶とさせていただきます。

～富里市消防本部のプロフィール～（令和5年12月31日現在）

発 足 年 月 日 : 昭和54年10月1日
管 轄 人 口 ・ 面 積 : 49,668人 ・ 53.88km²
勤 務 形 態 ・ 体 制 : 3部制 ・ 1署1分署
職 員 数 : 83人

令和5年度 (公財)千葉県消防協会臨時理事会の開催

千葉県消防協会臨時理事会が令和5年12月26日(火)に千葉市内で開催されました。

開会に先立って、第59回千葉県消防操法大会において総指揮者を務めた中村教雄理事(印旛支部長)に会長より記念品の「鳶口」の贈呈が行われました。

理事会は、石橋会長の挨拶の後、2議案について審議が行われ、議案第1号「千葉県消防会館のあり方について」は、会館の解体までの間、引続き資器材等の管理・保管の場として活用していくことや、対面での消防関係者の打合せ等の会議室としても活用していく方針が決議されました。

議案第2号「公益財団法人千葉県消防協会顧問の推薦について」は、前千葉県消防協会専務理事の鈴木一郎氏を顧問に推薦することが決議されました。



【臨時理事会】

◆ 議案

議案第1号：千葉県消防会館のあり方について

議案第2号：公益財団法人千葉県消防協会顧問の推薦について

◆ 報告事項

- 令和5年5月以降の職務の執行状況について
- 千葉県消防団活性化検討会について

◆ その他

- 令和6年の出初式の日程について
- 第74回千葉県消防大会の実施要綱について
- 令和6年度日本消防協会の主要行事予定(案)について



石橋会長挨拶



左側が中村理事です

令和6年新春を迎え 県内各地で消防出初式開催

令和6年の新春を迎え、恒例の消防出初式が1月5日(金)の勝浦市を皮切りに2月11日(日)の成田市までの間、県下48全ての消防団において消防職・団員をはじめ消防関係者参加のもと執り行われました。

消防出初式は、新しい年を迎え、消防職・団員が地域の安全・安心を守る職責の自覚を新たにし、防火・防災に対する消防人の心意気を示すとともに、地域住民の防災意識を高めるために毎年実施されてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和3年は全ての消防団で中止となるなど、全ての消防団で実施されるのは4年ぶりとなりました。

各会場には熊谷千葉県知事、石橋消防協会長、消防協会各支部長などが出席し、人員、器具の点検に始まり、パレードや分列行進などが規律正しく行われ、長年功労のあった消防団員の表彰等も行われました。

開催された消防出初式の様子を写真により一部紹介します。

☆市川市消防出初式 1月6日(土)



☆船橋市消防出初式 1月6日(土)



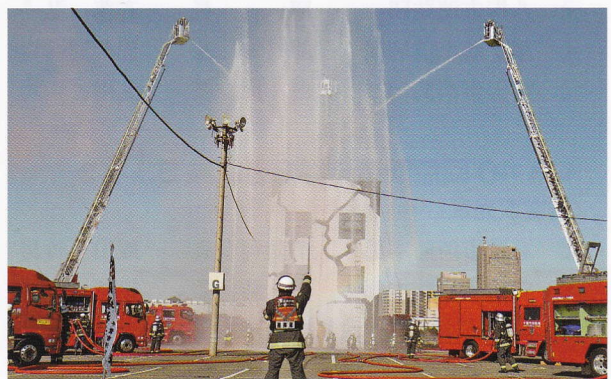
☆君津市消防出初式 1月7日(日)



☆神崎町消防出初式 1月8日(月)



☆千葉市消防出初式 1月13日(土)



☆成田市消防出初式 2月11日(日)



多年の労苦に輝く栄光

主な受章者の紹介

《春の叙勲 10名》

(瑞宝小綬章)

元 市川市消防局 消防正監 和田 照男

(瑞宝単光章)

元 銚子市消防団 副団長 潮来 一夫

元 長生郡市広域市町村圏組合消防団
副団長 市原 英二

(瑞宝双光章)

元 芝山町消防団 団長 小川 総夫

元 成田市消防団 副団長 岩立 一郎

元 四街道市消防団 団長 塚本 正英

元 四街道市消防団 分団長 大野 豊

元 安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部
消防正監 土岐 孝夫

元 習志野市消防団 副団長 加藤 博久

元 松戸市消防団 副団長 平野 勝一

《秋の叙勲 10名》

(瑞宝小綬章)

元 市原市消防局 消防正監 勝地巳三男

(瑞宝双光章)

元 流山市消防団 団長 小倉 邦裕

(瑞宝単光章)

元 山武市消防団 分団長 畔森 昌良

元 長生郡市広域市町村圏組合消防団
副団長 時田 哲男

元 市原市消防団 副団長 桐谷 喜心

元 船橋市消防団 副団長 土橋 敬治

元 八街市消防団 団長 斉藤 弘一

元 四街道市消防団 副団長 吉橋 史雄

元 袖ヶ浦市消防団 団長 佐久間 貢

元 野田市消防団 副団長 芝田 均

《第40回危険業務従事者叙勲 33名》

(瑞宝双光章)

元 君津市消防本部 消防司令長 飯田 竹男

元 千葉市消防局 消防監 杉田 光一

元 成田市消防本部 消防監 伊能 弘

元 袖ヶ浦市消防本部 消防司令長 鈴木 昭雄

元 山武郡市広域行政組合消防本部
消防監 江幡 英男

元 千葉市消防局 消防監 只野 清

元 松戸市消防局 消防監 遠藤 高幸

元 我孫子市消防本部 消防監 立澤 和弥

元 船橋市消防局 消防監 大野 光雄

元 松戸市消防局 消防監 豊島 一美

元 山武郡市広域行政組合消防本部
消防監 上代 正宏

元 千葉市消防局 消防正監 新田 隆昭

元 安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部

元 四街道市消防本部 消防監 林田 茂樹

消防監 粕谷 泰央

元 船橋市消防局 消防監 藤代 武

元 旭市消防本部 消防監 加瀬 寿勝

元 柏市消防局 消防監 松丸 一行

元 君津市消防本部 消防司令長 笹本 智

元 君津市消防本部 消防司令長 三沢 正男

元 香取広域市町村圏事務組合消防本部

元 君津市消防本部 消防司令長 渡邊 芳朗

消防監 椎名 昭男

(瑞宝单光章)

元 千葉市消防局	消 防 司 令	伊 藤 佳 忠	元 松戸市消防局	消 防 司 令	須 田 文 雄
元 習志野市消防本部	消 防 司 令 長	植 草 博	元 木更津市消防本部	消 防 司 令 長	泉 水 光 弘
元 千葉市消防局	消 防 司 令 長	大 土 裕 久	元 千葉市消防局	消 防 司 令	初 芝 俊 夫
元 栄町消防本部	消 防 監	奥 野 三 男	元 松戸市消防局	消 防 司 令	花 嶋 建 二
元 成田市消防本部	消 防 司 令 長	勝 田 茂 勝	元 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部	消 防 司 令 長	星 田 健 二
元 船橋市消防局	消 防 司 令 長	川 上 義 和			
元 香取広域市町村圏事務組合消防本部	消 防 司 令 長	鈴 木 壯 夫			

《第 41 回危険業務従事者叙勲 32 名》**(瑞宝双光章)**

元 習志野市消防本部	消 防 監	岩 田 守	元 松戸市消防局	消 防 監	鈴 木 重 宏
元 野田市消防本部	消 防 司 令 長	上 原 忠 男	元 我孫子市消防本部	消 防 司 令 長	須 藤 幸 之 助
元 八千代市消防本部	消 防 監	江 原 茂	元 浦安市消防本部	消 防 司 令 長	高 梨 能 親
元 船橋市消防局	消 防 監	尾 崎 利 道	元 香取広域市町村圏事務組合消防本部	消 防 監	玉 井 吉 忠
元 匝瑳市横芝光町消防組合消防本部	消 防 監	片 岡 一 明	元 柏市消防局	消 防 監	中 山 光 雄
元 印西地区消防組合消防本部	消 防 司 令 長	木 間 峰 高	元 流山市消防本部	消 防 司 令 長	野 口 博 一
元 富津市消防本部	消 防 監	五 月 女 正 巳	元 千葉市消防局	消 防 監	野 崎 俊 彦
元 習志野市消防本部	消 防 監	宍 倉 勝 男	元 成田市消防本部	消 防 監	渡 辺 文 明

(瑞宝单光章)

元 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部	消 防 司 令 補	池 野 則 男	元 船橋市消防局	消 防 司 令 長	鈴 木 操
元 山武郡市広域行政組合消防本部	消 防 司 令 長	石 川 欣 吾	元 千葉市消防局	消 防 司 令	清 宮 博 文
元 成田市消防本部	消 防 司 令	岩 井 英 夫	元 流山市消防本部	消 防 司 令	高 玉 芳 美
元 船橋市消防局	消 防 司 令 長	興 松 伸 次	元 我孫子市消防本部	消 防 司 令 長	中 村 光 男
元 木更津市消防本部	消 防 司 令 長	鹿 島 進	元 千葉市消防局	消 防 司 令	中 山 久 和
元 市川市消防局	消 防 司 令 長	久 保 谷 実	元 千葉市消防局	消 防 司 令	平 賀 英 司
元 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部	消 防 司 令 長	齊 藤 豊	元 千葉市消防局	消 防 司 令 長	布 施 喜 昭
			元 松戸市消防局	消 防 司 令	松 本 良 三
			元 市川市消防局	消 防 司 令 長	横 山 進

《春の褒章 3名》**(藍綬褒章)**

千葉市消防団	副 団 長	白 井 秀 行	船橋市消防団	副 団 長	林 弘 行
成田市消防団	副 団 長	關 恵 一			

《秋の褒章 4名》**(藍綬褒章)**

成田市消防団	副 団 長	鈴 木 康 則	柏市消防団	副 団 長	根 本 肇
千葉市消防団	副 団 長	田 中 和 幸	船橋市消防団	副 団 長	平 野 暁 郎

《文化の日千葉県功労者表彰 3名》

浦安市防火安全協会	会 長		九十九里町消防団	団 長	
元 (一社)千葉県危険物安全協会連合会	副 会 長	岡 安 栄 一	(公財)千葉県消防協会	理 事	古 川 克 俊
佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部	消 防 長	須 藤 和 義			

令和5年度女性消防団員活性化シンポジウムの開催

令和6年2月15日(木)にホテルポートプラザちばを会場に、公益財団法人千葉県消防協会が主催し千葉県の後援により、女性消防団員の士気高揚と活動の活性化を図ることを目的に令和5年度女性消防団員活性化シンポジウムが、開催されました。

昨年好評であった参加体験型研修会を今年度も実施し60名の女性消防団員が参加しました。

消防協会を代表し、吉野消防協会副会長から開会の挨拶の後、後援をいただいた千葉県防災危機管理部消防課室田課長から挨拶がありました。

続いて、昨年シンポジウムで行った「HUG（避難所運営ゲーム）」を開発し、普及に努めている「HUGのわ」を主宰する倉野康彦氏が、新たに開発したゲーム「SUG（災害対応運営ゲーム）」についての説明とミニゲームが行われ、午後は、受講生を4グループに分け、「SUG（避難所運営ゲーム）」を体験してもらいました。

SUGは、大災害発生時の地元地区での現場活動（共助）要配慮者の保護、地区災害対応本部の運営等をカードを動かして模擬体験するゲームです。各班がそれぞれの地区の災害対応本部となり、得られた情報を元に住民の安否確認を行いながら、今いる人の中から活動できる人を探し出し、初期消火、救出、救護、危険箇所への立ち入り禁止、道路復旧、要配慮者保護などの対応についてアドバイザーの防災士を交えて活発な議論がされていました。



吉野消防協会副会長



室田消防課長



倉野康彦講師



令和6年度消防防災科学技術賞の作品募集

消防研究センター

消防防災機器等の開発・改良、消防防災科学に関する論文及び原因調査に関する事例報告の分野において、優れた業績をあげた等の個人又は団体を消防庁長官が表彰することにより、消防防災科学技術の高度化と消防防災活動の活性化に資することを目的として、「令和6年度 消防防災科学技術賞」の作品募集をいたします。皆様の一層のご応募をお待ちいたしております。

詳細は、消防研究センターホームページ (<https://nrifd.fdma.go.jp>) をご覧ください。

【応募区分】

■消防職員・消防団員等の部

- A. 消防防災機器等の開発・改良
- B. 消防防災科学論文
- C. 消防職員における原因調査事例

■一般の部

- D. 消防防災機器等の開発・改良
- E. 消防防災科学論文

【応募受付期間】

令和6年4月1日(月)～4月22日(月)

※4月22日(月)の消印有効

【表彰】

優れた作品には、11月に行われる表彰式(東京都内)において、消防庁長官より表彰状及び副賞を授与します。

表彰件数は次のとおりです。

●優秀賞

- ・消防職員・消防団員等の部
 - A. 消防防災機器等の開発・改良 5件以内
 - B. 消防防災科学論文 5件以内
 - C. 消防職員における原因調査事例 10件以内
- ・一般の部
 - D. 消防防災機器等の開発・改良 5件以内
 - E. 消防防災科学論文 5件以内

作品募集!

令和6年4月1日(月)
>>4月22日(月)

消防防災科学技術賞
令和6年度

■募集区分
▼消防職員・消防団員等による応募
A. 消防防災機器等の開発・改良
B. 消防防災科学論文
C. 消防職員における原因調査事例
▼一般による応募
D. 消防防災機器等の開発・改良
E. 消防防災科学論文

■表彰
●優れた作品には、令和6年11月に行われる表彰式(東京都内にて開催予定)において消防庁長官より表彰状及び副賞を授与します。
●6月頃に、応募作品の「概要」が消防研究センターホームページで公開されます。
●受賞作品は、9月頃に決定・発表される予定です。

■連絡先
消防庁消防研究センター 研究企画部
TEL:0422-44-8331 E-mail: hyosho_nrifd8@soumu.go.jp
消防研究センターHP : <https://nrifd.fdma.go.jp/>

令和6年度表彰作品

心臓機能停止患者に対する呼吸器確保及びLTSSによる気道確保における成功事例を導く方策の研究
ポータブル電源から出火した火災について
確実で安全なガンタイプシールド受け口の開発
救急活動における感染防止衣の汚染状況と対策に関する研究

●奨励賞

消防防災機器等の開発・改良、消防防災科学論文及び原因調査事例 3件以内

- ・6月頃に、応募作品の「概要」が消防研究センターホームページで公開されます。
- ・受賞作品は、9月頃に決定・発表される予定です。

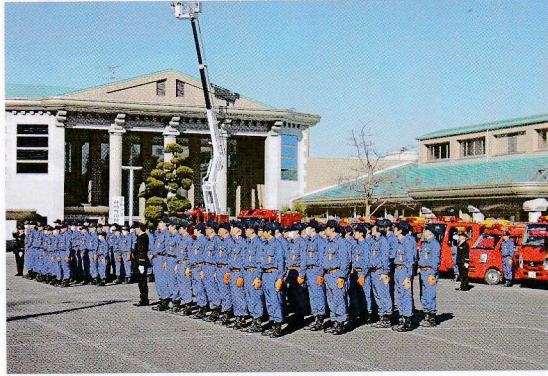
問合わせ先

消防庁消防研究センター 研究企画部
TEL:0422-44-8331 (代表)
E-mail: hyosho_nrifd8@soumu.go.jp

わが町の消防団

神崎町消防団

神崎町は、成田空港から北北東に14km、利根川右岸、下総台地の北端中央部に位置し、自然と緑が豊かなまちです。基幹産業は農業ですが、近年は隣接する成田国際空港、国道356号バイパスや圏央道IC等を機軸として、長期的展望に立った都市基盤の整備を進め、また、天の川公園、自然



遊歩道、わくわく西の城等を活用し、町の広域拠点性をさらに強め、町民が主役のまちづくりを目標に、自然と調和のとれた「自然と人とふれあいのまちづくり」を進めています。

さて、当町の消防団は遠藤栄治団長の下、2分団13部、総勢171名で構成されており、小型動力ポンプ付き積載車13台を配備。団員は『わがまちを災害から守る』という強い使命感のもと昼夜を問わず活動を行い、地域防災のリーダーとして活躍しています。

1年間の行事としては5月に消防の基礎知識・動作及び技術の取得のため、常備消防を委託している成田市消防本部から指導員の派遣をうけて、全団員を対象とした規律訓練を実施します。併せて河川を水源とした放水訓練を各分団ごとに行い、消防技術の向上を図ります。11月には秋季全国火災予防運動に合わせて火災予防パレードを実施し、地域住民の火災予防意識の向上を図っています。

3月には各部部長を対象として万が一の場合に適切な応急処置、人命救助が行えるよう普通救命講習会を開催し、心肺蘇生法・AEDの使用方法等の救命措置や応急手当の基礎知識の取得に務め、総務省消防庁より災害時に対応できるよう消防団拠点資機材セット等を無償貸与していただき、エアートントや簡易ベット・発電機付投光機を使用した救護所設営訓練、船舶を使用した救助訓練、チェーンソー・エンジンカッターを使用した障害物撤去訓練等も実施しています。



神崎町消防団は実員171名と所属する香取支部でも一番小さな消防団ですが、「公益財団法人千葉県消防協会香取支部ポンプ操法大会」では平成17年度から平成29年度までの12年連続（平成23年度中止）で優秀賞をとり、今年度も県大会へ出場しました。これも消防署員及び消防団本部役員の指導のもと、出場隊操作員が半年におよぶ厳しい練習に耐えながら消防技術の向上、団員

同士の連携を強化してきた結果であり、神崎町消防団の団結力の表れと自負しています。

しかし、昨今、就業構造の変化、若年層の都市部への流出、地域の連携意識の希薄等により消防団を取り巻く環境は大きく変化し、当町においても新規消防団員の確保が大きな課題となっており、今後入団者の一層の促進と時代に対応する組織作り・強化を図り、消防団一丸となって安心・安全の町を目指し活動していきたいと思ひます。



東 西 南 北

東 西 南 北 木下大サーカス(千葉幕張公演)で防火指導を実施 千葉市消防局

千葉市美浜消防署では、令和5年10月30日(月)、木下大サーカス(千葉幕張公演)の消防訓練において防火指導を実施しました。

消防訓練はショーの最中に売店から出火し、その後テントに燃え移ったという想定で行われ、観客の避難誘導やけが人の搬送、動力消防ポンプを使った消火活動が行われていました。

また、早朝からチケットを購入するために並んでいるお客さんの前で、消防職員の指導の下、サーカス団員の皆さんが消火器の取扱い訓練を行いました。

訓練後には、サーカス団の一員である象2頭が登場し、鼻に含んだ水を炎に見立てた三角コーンに勢いよく放水して開演前のお客さんを楽しませていました。

木下大サーカスでは、お客さんの安心安全のために、毎場所、消防訓練を実施しているそうです。



サーカス団員による放水訓練



消防職員による消火器取扱い説明



象2頭による放水

東 西 南 北 各関係機関との水難救助合同訓練 船橋消防局

船橋市消防局は、令和5年10月5日(木)、船橋市潮見町25番地海上航路周辺において、水難救助合同訓練を千葉海上保安部、千葉県警察水上警察隊、千葉県船橋警察署、千葉市消防局、市川市消防局、京葉港湾運送事業協同組合と連携し実施いたしました。

この訓練は、漁船とプレジャーボートの衝突事故を想定し、各関係機関との連携を図り、効果的な水難救助活動の実施を目的として行ったものです。

各関係機関の代表者が現場指揮本部にて、情報の共有及び活動方針を決定するなどし、毎年のように発生する多様な水難事故に対応するための確認が行えた訓練となりました。



東 西 南 北 都市ガス初動対応研修実施！ 柏市消防局

柏市消防局では、令和5年10月10日(火)、11日(水)、京葉ガス株式会社緊急保安研修センターで同職員を講師として、都市ガスの基礎知識習得及びガス漏洩等の災害発生時における現場対応能力向上を目的とした研修を実施しました。

研修では、訓練配管からガスを漏洩させ、測定器を使用しての数値確認及び補修材を用いたガス漏洩措置作業等の実践に即した訓練や、液化石油ガス及び都市ガスの相違点についての講義を受講しました。当初の目的である現場対応能力の向上のほか、現場経験が少ない若年層職員にとって貴重な経験となりました。



ガス漏洩時の対応要領



元栓開閉要領

定年引上げに伴い健康維持管理研修会の開催について

東 西
南 北

習志野市消防本部

今年度より定年が段階的に引上げとなることから、10月31日(火)全職員向けに健康維持管理研修会を開催致しました。

習志野市消防本部では60歳以降もすべての消防職員が各種業務に活力を持って従事できるために課題を取りまとめ、健康状態への不安が業務遂行に支障を来すことが大きな課題であると認識したことから、生活習慣病の予防、飲酒と喫煙及び睡眠の取り方等について、産業医科大学非常勤助教・特命講師幸地 勇医師を招聘し全職員で健康維持に対し共通の認識を図り、重要性について学びました。

また、当該研修会は、健康維持の観点から非番職員の参加は原則行わず、Zoom録画機能を活用し業務の合間に受講できる体制を整えました。



早期救出早期治療開始を目指した消防医療連携訓練を実施

東 西
南 北

松戸市消防局

松戸市消防局では、令和5年10月23日(月)、24日(火)の2日間、松戸市立総合医療センター救命救急センター医師、看護師等と連携訓練を実施しました。この訓練は消防と医療の連携強化を図るとともに、救助を要する者の早期救出、早期治療開始を目的として実施したものです。

当日は、高所転落事案、重量物排除事案、C災害対応事案を想定した実戦的な訓練を通じ、消防活動と医療活動の相互理解による連携強化を図ることができました。今後も更なる連携強化を図り早期救出、早期治療開始を目指した災害対応能力の向上に努めてまいります。



習志野市消防団、中継放水訓練実施について

東 西
南 北

習志野市消防団

令和5年11月18日(土)、習志野市消防団は市役所駐車場にて火災現場を想定した中継放水訓練を実施しました。

本市の消防団は全てポンプ車を配備しており、訓練では、水利部署したポンプ車から火点直近のポンプ車へ中継送水し、2隊で1線2口放水体系を取った後、後着のもう1隊は自隊のポンプ車を使用せずに火点直近隊から1線延長し、全分団に配備されているガンタイプノズルを使用して出火想定建物への放水及び延焼防止を主眼とした放水訓練を行いました。併せて、情報共有や伝達を目的としてトランシーバーの運用訓練も行いました。

また、火災防ぎよ及び鎮圧後の活動要領、安全管理について消防職員を講師に座学講習を行うなど知識・技術の向上を目的とした教育にも力を入れております。

最後に、火災のみならず今後起こるとされている首都直下型地震等の大規模災害に備えると共に、「我が街は自分たちの手で守る」という強い使命感のもと、引き続き消防本部と協力して本市消防団の充実強化を図って参ります。



東 西 心臓停止からの蘇生！人命救助者に対しに感謝状を贈呈 南 北 習志野市消防本部

習志野市消防本部では、令和5年11月14日(火)に心臓停止傷病者を救った消防協力者に対し、感謝状贈呈式を行いました。

この事案では、令和5年7月12日(水)習志野市内の千葉県国際総合水泳場内で、心臓停止状態となった傷病者に対し、同水泳場の職員と訓練のため訪れていた成田市消防本部水難救助隊員が、迅速な119番通報と心臓蘇生およびAEDの使用を連携して実施したことにより、救急隊到着時には心拍が再開し無事社会復帰へと繋がりました。

この功績をたたえ、消防長より感謝状を贈呈したものです。



東 西 新京成電鉄株式会社と合同で異常時総合訓練を実施 南 北 鎌ヶ谷市消防本部

鎌ヶ谷市消防本部では、令和5年11月9日(木)、くぬぎ山車両基地において、新京成電鉄株式会社との合同により、異常時総合訓練を実施しました。

訓練は、「踏切内での自動車との衝突による列車脱線事故」という想定のもと、関係機関と連携を図りながら負傷者等の救出訓練を実際の車両を用いて実施しました。

また、部分訓練では、担架を使用した救出訓練について、新京成電鉄株式会社の職員に指導いたしました。

今後も当消防本部では関係機関との連携強化を図るため、継続的に訓練を実施し災害対応能力の向上に努めてまいります。



東 西 四街道市PRを一日消防長に委嘱 南 北 四街道市消防本部

四街道市消防本部では、11月13日(月)、火災予防運動の事業の一環として四街道市PR大使である元プロバスケットボール選手の佐藤博紀さんを一日消防長としてお招きしました。

佐藤さんは、職員の通常点検を行った後、市内大型商業施設へ移動して立入検査を行いました。また、商業施設に来店された市民の皆さんに日頃からの火災予防について呼びかけを行い、啓発物品を配布するなど、精力的に活動していただきました。

今後も火災予防広報に注力し、市民の防火・防災意識の向上に努めてまいります。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

令和6年3月

- 7日 日本消防協会理事会・評議員会(ニッショーホール)
- 8日 日本消防協会定例表彰式(ニッショーホール)
- 11日 千葉県消防協会定時理事会
- 22日 千葉県消防大会(青葉の森芸術文化ホール)
- 26日 千葉県消防協会臨時評議員会

2023年度 全国統一防火標語
「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

令和6年 春季全国火災予防運動

3月1日(金)から3月7日(木)までの7日間

最重点項目

- ① 住宅防火対策の推進
- ② 林野火災予防対策の推進

重点項目

- ① 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- ② 放火火災防止対策の推進
- ③ 製品火災の発生防止に向けた取組みの推進
- ④ 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
- ⑤ 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
- ⑥ 地震火災対策の推進

<表紙の説明>

令和6年東金市消防出初式における放水試験 山武支部

1月8日(月)に消防出初式を実施しました。分列行進や小・中隊訓練などを披露し、表彰式では、消防活動において活躍した消防団員、消防職員が表彰されました。

式典終了後に八鶴湖畔において行われる一斉放水では、28台の消防車両から湖に向けて一斉放水が始まると、集まった見学者からは大きな歓声があがりました。

これからも東金市消防団は、古き良き伝統を継承しつつ、新しいものにも目を向けながら「市民が安全で安心して暮らすことができる東金」を目指し地域の防災リーダーとして市民の期待に応えていけるように邁進してまいります。

